

一般社団法人京都知恵産業創造の森 補助事業・委託事業 主なQ&A

01	スマート社会実装化促進事業補助金	: 2022/6/24〆切
	(詳細)	<a href="https://chiemori.jp/smart/support/y2022/r4-ss.html">https://chiemori.jp/smart/support/y2022/r4-ss.html</a>
02	京-VER創出促進事業補助金	: 2022/6/17〆切 (府への確認: 6/8〆切)
	(詳細)	<a href="https://chiemori.jp/smart/support/y2022/r4_kyover.html">https://chiemori.jp/smart/support/y2022/r4_kyover.html</a>
03	京都市中小事業者省エネモデル	
	実施事業 (委託事業)	: 2022/7/8〆切
	(詳細)	<a href="https://chiemori.jp/smart/support/y2022/r4-syouene.html">https://chiemori.jp/smart/support/y2022/r4-syouene.html</a>
04	スマートファクトリー促進支援事業補助金	: 2022/6/24〆切
	(詳細)	<a href="https://chiemori.jp/smart/support/y2022/r4-sf.html">https://chiemori.jp/smart/support/y2022/r4-sf.html</a>
05	自立的地域活用型再生可能エネルギー	
	設備等導入補助事業補助金	: 2023/1/27〆 (府への確認: 2023/1/18〆切)
	(詳細)	<a href="https://chiemori.jp/smart/support/y2022/r4_saiene.html">https://chiemori.jp/smart/support/y2022/r4_saiene.html</a>

1. 事業全体について

Q1-1	自身が補助事業・委託事業の対象者かどうか、どのように確認すればよいか。
A1-1	<p>【補助事業 (01 スマート社会、02 京-VER、04 スマートファクトリー、05 自立的)】 上記 URL のとおり、各事業ページに掲載している募集要領の「補助対象者」欄をご確認ください。</p> <p>【委託事業 (03 京都市中小事業者省エネモデル実施事業)】 募集要領の「応募資格要件」欄をご確認ください。</p>
Q1-2	自身の取組内容が補助事業・委託事業の対象者かどうか、どのように確認すればよいか。
A1-2	<p>【補助事業 (01 スマート社会、02 京-VER、04 スマートファクトリー、05 自立的)】 各事業ページに掲載している募集要領の「補助対象事業」欄をご確認ください。</p> <p>【委託事業 (03 京都市中小事業者省エネモデル実施事業)】 ①募集要領の「委託業務内容」欄及び②別添 PDF「仕様書」をご確認ください。</p>

Q1-3	補助事業・委託事業を申請した後、採択・選定されるまでに、申請事業に着手したい場合、どのような点に注意すればよいか。
A1-3	<p><b>【補助事業 (01 スマート社会、02 京-VER、04 スマートファクトリー、05 自立的)】</b></p> <p>各事業ページに掲載している募集要領の「補助対象となる事業期間」欄をご確認ください。事前着手ができる内容は限定されていますので、ご注意ください。</p> <p>また事業に着手する場合は、各事業ページに掲載している申請書類の「事前着手届」をご提出ください。</p> <p>※ こちらを提出しても補助金の採択を確約するものではありません。</p> <p><b>【委託事業 (03 京都市中小事業者省エネモデル実施事業)】</b></p> <p>委託事業は契約締結日から業務開始日となりますので、締結後に事業を行っていただく必要があります。なお申請に必要な見積書を提出するにあたり、工事業者様から見積書を提出いただくことは可能です。</p>
Q1-4	補助事業・委託事業を申請するにあたり、最低額などの下限設定はあるか。
A1-4	<p>02 京-VER を除き、最低額の設定はありません。</p> <p><u>02 京-VER については補助金の下限額を 50 万円としているため、補助対象経費が 150 万円未満の内容は補助対象外です (サプライチェーン枠の場合は補助対象経費が 100 万円未満)。</u></p>
Q1-5	補助事業・委託事業を申請するにあたり、京都府や京都市の確認等が必要な書類はあるか。
A1-5	<p><b>【補助事業 (01 スマート社会、02 京-VER、04 スマートファクトリー、05 自立的)】</b></p> <p>02 京-VER については、<u>2022 年 6 月 8 日 (水) までに、「温室効果ガス削減算出シート」について、京都府の確認を受ける必要があります。</u></p> <p>※ 申請にあたっては、事業ページに掲載している「交付申請フロー」をご確認ください。</p> <p>05 自立的地域活用型再生可能エネルギー設備等導入補助事業補助金については、<u>2023 年 1 月 18 日 (水) までに、「京都府再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例に基づく自立的地域活用型再生可能エネルギー導入等計画」について、京都府の確認を受ける必要があります。</u></p> <p>また、同補助金において、太陽光発電設備を導入する事業にあつては、上記の計画認定に加えて、<u>2023 年 1 月 18 日 (水) までに、「京都版 CO2 排出量取引制度における創出事業計画書 (案)」について、京都府の確認を受ける必要があります。</u></p> <p>※ 申請にあたっては、事業ページに掲載している「交付申請フロー」をご確認ください。</p>
Q1-6	補助事業・委託事業について、途中で募集が打ち切られることはあるか。
A1-6	<p>05 自立的を除き、募集が打ち切られることはありません。</p> <p>01 スマート社会、02 京-VER、03 省エネモデル、04 スマートファクトリーについては、〆切日までに申請された案件を踏まえ、7 月の審査会で交付決定・選定等を決定します。そのため、〆切日前に募集を打ち切ることはありません。</p> <p>05 自立的については、随時受付し、交付決定等を行いますので、予算の予定数に達するまでの募集となります。</p>

## 2. 各事業について

Q2-1	02 京 VER について、募集要領に、照明については「整備する省エネ施設が照明機器の場合、補助対象経費 100 万円あたりの温室効果ガス排出量の削減効果が、6 t-CO <sub>2</sub> /年以上」等の補助要件があるが、どのように計算すればよいか。		
A2-1	上記の要件を満たすかどうかは、02 京-VER のページ内にある申請書類「温室効果ガス削減効果算出シート (Excel)」を活用し、入力していただくと、「削減効果● t-CO <sub>2</sub> /年」が計算されます。 なお計算方法については、同ページにある「温室効果ガス削減効果算出シート (計算方法)」を参考にしてください。		
Q2-2	照明設備・空調設備の更新を検討しているが、活用できる制度はあるか。		
A2-2	【京都府内の事業所様】は、02 京-VER (補助金) が、 【京都市内の事業所様】は、02 京-VER (補助金)、03 省エネモデル (委託事業) が活用できるため、事業所様の状況に合わせて申請をご検討ください。		
Q2-3	02 京 VER と 03 省エネモデルを検討するにあたり、制度的にどのような違いがあるのか。		
A2-3	02 京-VER と 03 省エネモデルの主な違いは下記の通りです。事業所様の状況に合わせて申請をご検討ください。		
	事業名	02 京-VER	03 省エネモデル
	種別	補助事業	委託事業
	事業所の要件	京都府内 (京都市内含む)	京都市内のみ
	申請の下限額	補助対象経費が 150 万円未満の内容は補助対象外である (サプライチェーン枠の場合は 100 万円未満)	なし
	補助金上限額・補助率 委託料上限額・計上率	上限 800 万 (下限 50 万円) 1/3 以内 (サプライチェーン枠の場合 1/2 以内)	上限 100 万円 (税込) 1/3 以内 (機器費) 10/10 以内 (機器費以外)
	主な申請要件	<b>照明</b> 補助対象経費 100 万円あたりの温室効果ガス排出量の削減効果が、 <u>6 t-CO<sub>2</sub>/年以上</u> <b>照明以外 (空調など)</b> 補助対象経費 100 万円あたりの温室効果ガス排出量の削減効果が、 <u>3 t-CO<sub>2</sub>/年以上</u> 他	仕様書に記載の業務を実施 <b>【主なもの】</b> ・ 専門家による省エネ診断の受診 ・ 設備の更新 ・ 更新いただいた内容を取りまとめ、セミナー等で普及拡大
	〆切	2022 年 6 月 17 日 〆 (府の事前確認期限: 6 月 8 日 〆)	2022 年 7 月 8 日 〆

(今後必要に応じて、随時更新)